

関東ブロック大会に全自交労連も共催 全国で2万人の結集大会を開きデモ行進

燃料価格の高騰が続き、経営危機突破に向けての行動（燃料価格高騰による経営危機突破全国統一行動）と題し、トラック・バス・ハイヤータクシーも共同行動を取り全国で2万人を結集します。関東ブロックは東京の日比谷公会堂に全自交も含め集結しました。5月15日、東京日比谷公会堂に、トラック、バスハイタクの業界と労働組合約2500名が集結しました。



室井国土交通大臣政務官、東民主党トラック議員連盟会長代行をはじめ100名を超す国会議員（代理を含む）も、来賓として出席。運輸労連からは、群馬県連栃木県連、茨城県連、埼玉県連、千葉県連、東京都連、神奈川県連、山梨県連、中央本部など関東ブロックから51名が参加し、「燃料価格高騰による経営危機突破全国統一行動・関東ブロック総決起大会が開かれました。

主催者を代表し、全日本トラック協会の星野良三会長より「政府与党に対し燃料高騰対策の早期実施を強く要望するとともに、国民の理解と支援をお願いしたい」とあいさつ。また運輸労連の山浦中央執行委員長は、「昨今の燃料価格の高騰は、トラック運送事業者の自助努力の限界を超えるもの。労働条件の悪化や安全運行体制への影響も懸念されており、業界として経営基盤を安定化させる必要がある。今年4月上旬に運輸労連は政府ならびに民主党に要請行動を実施し、燃料サーチャージの導入促進策の一層の推進などを求めた。本日お集まりいただいた民主党の国会議員の皆さんにも協力をお願いしたい」とあいさつ。



日本バス協会の堀内光一郎会長からは、「社会基盤である公共交通のバス経営が燃料の高騰により危機に至っている。安定した燃料確保、安定したバス輸送、安定した企業運営のために、トリガー条項の凍結解除、燃料サーチャージ制導入、軽油引取税の減税、燃料費を補填する支援策等が必要である。労使一体となった取り組みを強化しよう」とあいさつ。

全タク連の富田昌孝会長、運輸労連より山浦正生執行委員長からも、それぞれ挨拶がありました。続いて来賓あいさつでは、室井国土交通大臣政務官が「トラックをはじめ自動車輸送は日本経済・国民生活を底支えする社会的基盤。皆さんの日頃のご苦勞に精一杯対応し、敏速に行動したい」とあいさつ。

民主党トラック議連会長代行の東祥三衆議院議員からも力強い挨拶がありました。大会決議（軽油引取税を緊急減税・トリガー条項を凍結解除・燃料サーチャージ制導入促進・燃料価格監視の強化・燃料費補填する補助金・ガソリン税の減税を含む）を、関東トラック協会副会長・群馬県トラック協会会長の三浦文雄氏が読み上げ、会場内の全員で確認をしました。その後、シュプレヒコールを行い閉会しました。雨が降り続くなか、陳情団は国土交通省・経済産業省等に向けた要望活動を行いました。

請願行進第1・2班とデモ行進第1～7班に別れ、請願行進は、日比谷公園から財務省上を通り衆議院議員面会所で請願をして、旧永田町小学校裏間で解散しました。シュプレヒコールは「ガソリン税を緊急減税しろ」等、6項目のスローガンを叫びながらデモ行進は、日比谷公園から、外堀通りを左折し、数寄屋橋交差点を直進し、丸の内鍛冶橋駐車場前まで、デモ行進をし、解散となりました。